

児童発達支援・放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公)

公表: 令和6年4月15日

児童発達支援・放課後等デイサービス サトヤマキッズ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である		○		人員・設備・運営基準としては満たしておりますが、参加の人数や活動内容によっては、十分な広さではないこともあります。来年度は運動の時間は、グループ分けしての活動を検討しております。
	2	職員の配置数は適切である	○			基準配置2:10を上回る人員配置を行い、保育士、理学療法士の資格取得者を配置しております。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			部署目標、個人目標を年度初めに設定し、年度末に振り返りをおこなっています。
	4	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	-	-	-	初年度につき、今回が初めての実施となります。
	5	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	-	-	-	初年度につき、今回が初めての実施となります。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	-	-	-	実施をしておりません。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			年間教育訓練計画を作成し、定期的に研修機会を設けています。
適切な支援の提供	8	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成している	○			保護者様との面談を実施し、またアセスメントツールを用いて個別支援計画の作成に活かしています。
	9	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			運動・感覚面において、標準化されたアセスメントツールを用いています。
	10	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			シフト制勤務のため、職員全体での話し合いの時間が、十分には確保できません。短時間勤務者を含めた職員全体で話し合いの時間が持てるようにしたいと考えています。
	11	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			運動療育をメインとしているため、固定化しがちではあるがバリエーションを持てるように日々工夫しています。
	12	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇における課題設定
	13	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成している	○			主に集団活動が多いが、今後は職員数が多くなりますので、個別活動の時間も増やしていきたいと考えています。
	14	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			朝礼および昼後のミーティング時間にて、活動内容の確認、変更点注意点などを打合せをおこなっています。
	15	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			終了後に打合せという形での時間はなかなかとれませんが、細かく記録に残すことで情報共有をおこなっています。
	16	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			同上
	17	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	○			6か月に一度以上、モニタリングをおこない、支援計画の見直しをおこなっています。
18	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○			運動療育をメインとしていますが、SSTやおでかけなどこどもたちの	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		会議の日時設定上、一番多く子どもに接している支援員が出席することはなかなか難しいですが、可能な限り対応して参ります。
	20	学校・通園先との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			学校や通園先のご協力のもと、日々連絡調整をおこなっています。
	21	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		現状では、支援員が外出して研修を受ける時間がなかなか持てておりません。内部での研修やeラーニングなどを活用しています。
	22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			クラウドシステムを利用しており、オンラインメッセージ等なるべく保護者様とコミュニケーションを取れるようにしています。
保護者への説明責任等	23	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			ご契約時に説明をおこなっています。
	24	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		定期的な面談をおこなっています。
	25	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			お客様対応窓口を設けています。
	26	個人情報に十分注意している	○			全職員と秘密保持契約を交わしており、個人情報は、鍵付きのロッカーに格納しています。
	27	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			絵カード等を用いたコミュニケーションを実践しています。
	28	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			お祭りやこども食堂など地域行事をおこなっています。
非常時等の対応	29	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		各種マニュアルを整備、保護者様には周知する機会がありませんでしたので、今後検討していきます。
	30	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○		定期的な消防訓練をおこなっています。
	31	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止研修をおこなっています。
	32	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で個別支援計画に記載している		○		身体拘束マニュアルを作成し、職員に周知しています。現在は身体拘束が必要になる児童、ケースがあまり想定されていないため、計画には記載しておりません。
	33	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			アレルギー状況を保護者様にヒアリングし、食の提供がある場合は配慮をしています。
	34	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		ヒヤリハット報告書を作成していますが、職員間での共有が徹底されていません。対策を検討していきます。